

令和7年度 参画と協働施策実施状況報告書										
通番	事務事業名称 広陵町男女共同参画審議会				所管部署	課名 協働のまちづくり推進課				
(ア) 総合計画上の位置づけ										
施策	番号	施策名			展開方向	番号	展開方向名			
	5-5	男女共同参画の推進				3	男女共同参画に対する理解と関心の推進			
(イ) 実施内容・体制										
協働する相手		広陵町男女共同参画審議会委員								
協働実施手法		3-1 審議会、策定委員会等								
具体的な協働者	学識経験者、町の関係団体の代表者、公募委員などからなる広陵町男女共同参画審議会委員						⑨ 協働者の母数	15人		
期待成果	公募による委員を含む審議会を開催し、さまざまな分野及び立場から選出された委員からの意見を、男女共同参画社会づくりの施策に反映することを目的とする。令和4年度に広陵町男女共同参画後期行動計画を策定したことから、町や関係団体を含めさまざまな主体が連携しながら男女共同参画やジェンダー平等を推進する。									
事業内容	過年度の男女共同参画事業の進捗評価、男女共同参画やジェンダー平等への提言など ※審議会は年1回であったが、令和7年度は2回実施									
(ウ) 事業費										
事業費(決算(見込)額・予算額)		単位	R 5	R 6	R 7	R 8	今後の事業費の方向性			
		千円	144	35	144	173	維持			
今後の方針		拡大 拡大・縮小・廃止の理由 行動計画に基づき、男女共同参画やジェンダー平等を推進する。								
令和7年度事業評価	参画・協働の原則に基づいた評価項目					行政の自己評価	協働する相手の自己評価			
5	4	3	2	1	目的共有	協働する相手と目的や意義を共有することができたか。				
とてもできた それなりにできた どちらでもない あまりできなかった 全然できなかった					対等性	お互いに上下の関係ではなく、パートナーとして対等な関係を保つことができたか。				
					自主・自立	協働する相手との長所をいかし、相手の自主性を尊重することができたか。				
					相互理解	お互いの立場や特性を理解した上で、役割を明確にして取り組むことができたか。				
					情報公開・透明性	協働する事業の取り組みや成果について、それぞれが分かりやすく情報発信することができたか。				
					評価・見直し	事業の目標設定をするとともに、評価・検証(PDCAサイクル)を行ったか。				
					相互変革	協働事業を通じて「共に学び」「共に育ち」「共に変わる」といった柔軟に対応する姿勢を持つことができたか。				
合計										
総合評価		A評価 35~26	B評価 25~21	C評価 20~16	D評価 15~11	E評価 10以下				
					行政の意見	協働する相手の意見				
協働によって得られた効果										
協働することで感じた課題や今後の方向性										
(エ) 協働する相手の評価について										
評価方法(誰にどのように)										